

令和4年（2022年）9月11日



「三島そば」後世に

GWが種まき 11月収穫へ

NPO法人グラウンドワーク（GW）三島は10日、三島市の箱根西麓の畑に「三島そば」の種をまいた。メンバーら10人が約500平方メートルの畑で作業した。畝の上に溝を作り、5センチほどの間隔を空けて種を落としていった。江戸時代に三島宿を

根西麓

畑に三島そばの種をまく参加者＝三島市の箱根西麓

訪れた旅人は三島そばに舌鼓を打ったと言われている。一時途絶えかけた地元の名物を復活させようと、同NPOは19年前から箱根西麓の遊休農地で栽培を続けている。

同NPOによると箱根西麓の土壌と気候が、豊かな味と香り、独特の色のそばを生み出すという。渡辺豊博専務は「貴重な歴史的地場産品を後世に伝えていけるよう、これからも作り続けていきたい」と話した。収穫は11月の見込みで、そば打ち教室開催や年越しそば販売を計画している。